

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり(生涯学習)

第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる

1 学校と地域の結びつきを深め、教育環境を充実する

学校規模の適正化を進めながら、学校施設設備の計画的な整備を図ります。また、学校運営への地域住民の参加や地域の教育資源の効果的な活用など、家庭・地域・学校が協働して子ども達を育む環境づくりを進めます。地域課題や社会環境変化に対応する教育内容の強化を図るほか、確かな学力の向上と生きる力、豊かな人間性を育む教育を進め、心身ともに健康な子ども達を育てます。町内高等学校の特色化、維持と充実に努めるとともに、高等教育機関等と地域との連携を強化します。



第1章 みんなでつくるまちづくり(協働と交流)

第2章 住みやすいまちづくり(快適な暮らし)

第3章 安全・安心なまちづくり(安全・安心な暮らし)

第4章 福祉の充実したまちづくり(心豊かな暮らし)

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり(生涯学習)

第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる

第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する

第6章 活気のあるまちづくり(活力ある産業)

第7章 行財政改革をめざすまちづくり(自治体運営)

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標																								
1) 学校教育環境の整備	◆ 小・中学校の統廃合については、地域住民との協議を経て2校が統合されました。また、耐震化など学校施設の整備やICT化など教育環境の充実を図ってきました。 ◆ 学校規模の適正化を検討し、それに併せて学校施設の整備・改修を図っていく必要があります。 ◆ 学習指導要領の改訂等に対応した教材・教具を整備し、学校教育の環境水準を維持していくことが必要です。 ◆ 地域との連携を図り、地域に根ざした学校、子どもたちが安全に活動できる特色ある学校づくりが求められています。	◇ 地域住民とともに、学校規模の適正化を検討し、それに併せて学校施設、設備の計画的な整備改修を図ります。 ◇ 学校運営への地域住民の参加や地域の教育資源の効果的な活用など、家庭・地域・学校が協働して子どもたちを育む環境づくりを進めます。	- 学校統廃合の方向性の検討 地域の実情を踏まえ住民参画のもとで統廃合について検討します。 - 学校施設の整備 日常的な修繕のほか、災害時の対策等、施設維持管理に努めます。 - 学校の安全強化 定期的な防犯・防災教育や地域住民との連携により安全強化を図ります。 - 教育環境の充実 各教材備品や図書等を整備し学習環境の充実に努めます。 - 学校給食施設の整備 中学校給食の実施や老朽化した学校給食施設の整備を検討します。 - 地域と連携する学校運営の確立 地域ぐるみで子どもたちを育む環境づくりを推進します。	- 住民の役割 学校教育に積極的にかかわります。 - 事業者の役割 学校教育活動に参画します。	<table><tr><td colspan="2">学校給食施設の整備状況（％）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>71.0</td><td>100</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">学校評価アンケートで、小・中学校の教育について「満足」「やや満足」と回答した保護者の割合（％）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>85.8</td><td>90.0</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">小・中学校図書館図書標準達成率（％）</td></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>57.0</td><td>100</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">小・中学校1校あたりで、体験学習等の外部人材活用延べ人数（人）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>79.8</td><td>100</td></tr></table>	学校給食施設の整備状況（％）		現況値(H23)	目標値(H28)	71.0	100	学校評価アンケートで、小・中学校の教育について「満足」「やや満足」と回答した保護者の割合（％）		現況値(H23)	目標値(H28)	85.8	90.0	小・中学校図書館図書標準達成率（％）		実績値(H22)	目標値(H28)	57.0	100	小・中学校1校あたりで、体験学習等の外部人材活用延べ人数（人）		現況値(H23)	目標値(H28)	79.8	100
学校給食施設の整備状況（％）																													
現況値(H23)	目標値(H28)																												
71.0	100																												
学校評価アンケートで、小・中学校の教育について「満足」「やや満足」と回答した保護者の割合（％）																													
現況値(H23)	目標値(H28)																												
85.8	90.0																												
小・中学校図書館図書標準達成率（％）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
57.0	100																												
小・中学校1校あたりで、体験学習等の外部人材活用延べ人数（人）																													
現況値(H23)	目標値(H28)																												
79.8	100																												





第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第1節	学校教育を充実し、次世代を育てる
第2節	文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標																				
2) 学校教育内容の充実	◆ 『学力・体力・判断力アップ事業』『夢づくり事業』を核として、各学校独自の取り組みや課題解決に向けた教職員の研修を推進するとともに、学校支援員を配置し、基礎学力の向上を図っています。子どもたちの生きる力をより高める取り組みを進めることが課題となっています。 ◆ 中学校での英語授業の補助や小学校での外国語活動の補助を行い、児童生徒の英語能力向上を図るとともに、国際交流および国際理解を推進しています。 ◆ 福祉関係機関および県立支援学校との連携を図り、就学指導の充実を図っています。今後は、すべての子どもたちに通じる特別支援教育の充実を図ることが課題となっています。	◇ 確かな学力、確かな体力、確かな判断力の育成を基本に、地域の資源を活かしながら学校教育の充実を進めていきます。そのため、『学力・体力・判断力アップ事業』を中心に、教職員の指導力の向上と関係機関との連携を強化します。 ◇ 保護者や地域住民の意向を反映する信頼される学校づくりをめざします。そのため、『夢づくり事業』を中心に、教育課程への地域人材活用や児童生徒の地域行事等への参画を推進します。 ◇ 保健福祉課との連携機関『はぐくみ会』を中心に、保育所と小・中学校との連携を強化し、就学前および義務教育修了後の支援、障害をもつ児童生徒への継続的な支援を図ります。	確かな力の向上 心技体の調和のとれた子どもの育成のため学校教育の充実に努めます。 新たな教育課題への対応 時代に応じた授業内容や学習環境の整備に努めます。 地域の特色を生かした教育 豊かな自然環境や学習施設を生かした教育を推進します。 障害児等教育の充実 障害のある児童生徒に対して、関係機関と連携し、個々に応じた指導が受けられるよう、適切な教育的支援を進めます。 道徳教育、人権教育の充実 先進的効果的な実践を参考に道徳教育の推進と人権教育を推進します。 教職員の指導力の向上 教職員の研究体制の組織化と学校教育指導主事の設置により指導力の向上に努めます。	住民の役割 学校教育に積極的にかかわります。 事業者の役割 職業体験学習などの学校教育活動に参画します。	全国学力学習状況調査結果 <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>全国水準</td><td>全国水準を維持する</td></tr></table> 学校1校あたりの年間校内研修〔授業研修〕実施回数（回） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>6.7</td><td>10</td></tr></table> 小学生の体力運動能力調査結果（8種目合計） 全国平均を50とする <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>51.3</td><td>53</td></tr></table> 中学生の体力運動能力調査結果（8種目合計） 全国平均を50とする <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>52.9</td><td>54</td></tr></table> A L Tの小学校外国語活動(週当たり1時間)への指導充足率（％） A L Tとは、外国語指導助手のこと。 <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>50.0</td><td>70.0</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	全国水準	全国水準を維持する	現況値(H23)	目標値(H28)	6.7	10	実績値(H22)	目標値(H28)	51.3	53	実績値(H22)	目標値(H28)	52.9	54	現況値(H23)	目標値(H28)	50.0	70.0
現況値(H23)	目標値(H28)																								
全国水準	全国水準を維持する																								
現況値(H23)	目標値(H28)																								
6.7	10																								
実績値(H22)	目標値(H28)																								
51.3	53																								
実績値(H22)	目標値(H28)																								
52.9	54																								
現況値(H23)	目標値(H28)																								
50.0	70.0																								

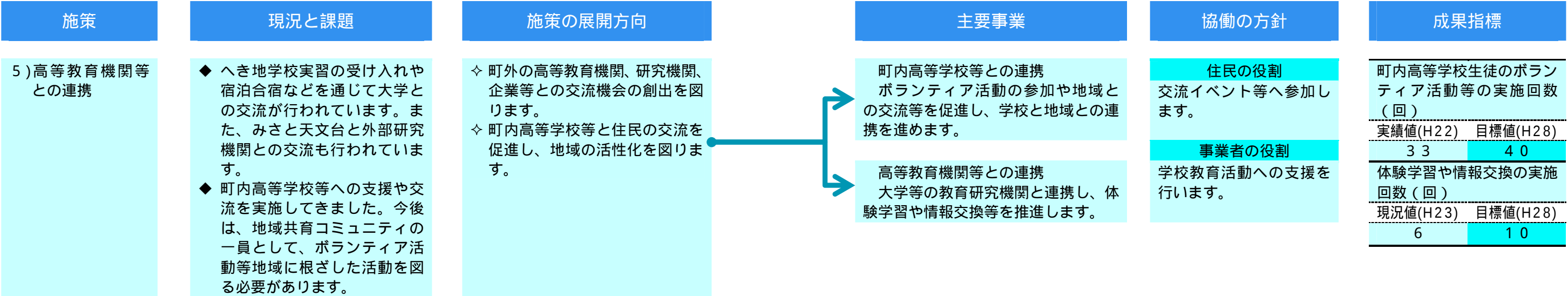


第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第1節	学校教育を充実し、次世代を育てる
第2節	文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
3)通学環境の整備	◆ 子ども見守り隊、声かけ運動など、地域の住民とともに、地域ぐるみで見守りを行っています。 ◆ 児童生徒送迎のためのスクールバスは生徒数の推移に伴い、毎年コース・乗降場所を変更し、利用しやすく安全な運行に努めています。 ◆ 登校時の安全確保はボランティアや学校関係者による見守りで安全確保されていますが、下校時については地域や学校と連携し、さらなる安全確保に努める必要があります。	◇ 安全・安心な通学環境を確保できるように教育委員会と学校、家庭、地域の連携を図り、歩道整備や子どもたちの見守り活動を推進します。 ◇ 地域の実情に応じてスクールバスを運行し、児童生徒の負担軽減と安全な通学の確保に努めます。	通学路の安全確保 各小・中学校において登下校時の安全確保のため通学路の安全指導に取り組めます。 地域ぐるみの見守り 各小・中学校のPTAや地域、学校が連携し、声かけ運動など見守り活動を行います。 スクールバスの運行 車両の老朽化や運転手の確保、児童生徒数の推移を考慮したスクールバス購入など、より良い運行環境に努めます。	住民の役割 登下校時の見守りなどを行います。 事業者の役割 子どもへのあいさつ運動や見守り活動に積極的に参画します。また「かけこみ110番の家」(きしゅう君の家)として協力します。	子どもの見守りなどを行っている団体の参加人数(人) 現況値(H23) 目標値(H28) 111 150 「かけこみ110番の家」(きしゅう君の家)の登録数(軒) 現況値(H23) 目標値(H28) 112 120
4)健康な児童・生徒の育成	◆ スクールカウンセラーを配置し、相談体制の充実を図っています。 ◆ 小・中学校での体力テストや医師会の協力を得た健康診断を継続して実施しています。 ◆ 視力の低下や高学年での歯周病が目立ち、より一層の充実した検診や相談体制を整え、早期発見、早期治療が課題となっています。	◇ 心身ともに健康な子どもたちを育てるために、スクールカウンセラーの配置を継続し相談体制の充実を図ります。 ◇ 検診を通じた健康管理と、総合的な学習の時間や学校給食を通じ食への関心を高める指導を推進します。	相談体制の充実 スクールカウンセラーを配置し学校の相談体制を充実します。 健康管理の強化 定期的な健康診断や体力テストの結果による指導を行います。 食育の推進 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食育を推進します。	住民の役割 家庭における子どもの健康管理に努めます。 事業者の役割 学校や家庭と連携し、健康づくり活動に積極的に参画します。	中学3年生1人当たりが持っている虫歯の数(本) 現況値(H23) 目標値(H28) 1.23 0.7 中学生における眼鏡・コンタクトレンズ使用者率(%) 実績値(H22) 目標値(H28) 35.0 30.0 スクールカウンセラーへの相談件数(件) 実績値(H22) 目標値(H28) 133 150



第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第1節	学校教育を充実し、次世代を育てる
第2節	文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）



2 地域環境を活かした育成活動を進める

次世代を担う青少年を地域ぐるみで育てていく体制を整えます。



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
 - 第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる
 - 第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標								
1) 青少年育成推進体制の強化	◆ 青少年を地域ぐるみで育てる体制として、青少年育成町民会議、青少年育成委員会、地域活動連絡協議会などを中心に青少年健全育成に取り組んでいます。しかし、近年、この育成活動の必要性が地域全体に周知されにくいことや、指導者の担い手不足が大きな課題となっています。 ◆ 学校、民生委員・児童委員や関係機関等と連携しながら、青少年の相談体制を充実させ、問題の早期発見に向けて取り組んでいます。	◇ 青少年の健全育成をめざし、関係機関・団体、地域、家庭との連携強化のもと、育成活動の意義と重要性の周知に努め、人材の育成や各種団体への支援を図ります。 ◇ 青少年のさまざまな問題に的確に対応するため、学校、家庭、地域が連携しながら、相談・指導体制の充実に努めます。	青少年育成組織の強化 幅広い年齢層の少年補導員を育成し、研修等を活用し青少年育成活動の必要性を再確認し、青少年育成組織の強化を図ります。 相談体制の充実 学校や地域と連携し、情報の共有や青少年相談体制を充実させ、問題の早期発見、対応に努めます。	住民の役割 親や教師に次ぐ「第三の保護者」である地域の大人として、青少年健全育成に参画します。 事業者の役割 次世代を担う青少年の自立支援を図るため、学校などと連携し、職場体験や青少年の健全育成の環境づくりを支えます。	町民アンケート調査より、青少年の育成活動に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>13.0</td><td>20.0</td></tr></table> 青少年に関する相談件数（件） <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>5</td><td>10</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	13.0	20.0	実績値(H22)	目標値(H28)	5	10
現況値(H23)	目標値(H28)												
13.0	20.0												
実績値(H22)	目標値(H28)												
5	10												
2) 青少年育成活動の充実	◆ 地域活動クラブ、みどりの少年団等を支援し、社会参加を促進しました。 ◆ 各団体の活動に参加していない層の掘り起こしが課題となっています。 ◆ 声かけ運動、補導活動、啓発活動など、青少年の非行防止を推進しており、引き続き、青少年が安全で安心して活動できるよう各種の健全育成活動に取り組む必要があります。	◇ 地域活動クラブ、ジュニアリーダーズクラブ、みどりの少年団など各種団体の活動支援や活動に対するニーズ把握を行い、青少年の地域づくり活動への参画を進めます。 ◇ 青少年団体や関係機関などと連携し、地域ぐるみでの青少年の安全対策と非行防止活動を推進します。	社会参加・交流機会の拡充 社会性を養うボランティア活動や世代間交流を目的としたイベント活動を支援します。 安全対策と非行防止 学校関係者や地域住民と連携し安全対策や非行防止に努めます。	住民の役割 親や教師に次ぐ「第三の保護者」である地域の大人として、青少年健全育成に参画します。 事業者の役割 次世代を担う青少年の自立支援を図るため、学校などと連携し、職場体験や青少年の健全育成の環境づくりを支えます。	青少年に関する大規模なイベントの参加者数（人） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>937</td><td>950</td></tr></table> 青少年の補導・指導件数（件） <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	937	950	実績値(H22)	目標値(H28)	2	0
現況値(H23)	目標値(H28)												
937	950												
実績値(H22)	目標値(H28)												
2	0												

第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する

1 まちづくりに還元される社会教育を促進する

いつでも、どこでも、だれでもを基本に、多世代が多種多様な学習ができる場づくりを企画運営していくとともに、指導者の発掘および育成を進め、自主活動を促進します。また、学習成果が自主活動の促進や地域協働のまちづくりに還元されることをめざします。



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
 - 第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる
 - 第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
1)生涯学習体制の整備	◆ 生涯学習振興計画に基づき、各種団体や地区公民館と連携を取りながら事業を進めています。 ◆ 町自主事業について、「文化センター運営委員会」を設け文化振興について連携を図っています。 ◆ 公民館のサークル活動について育成および支援を行っています。	◇ 今後も、社会教育関連団体や地元自治会等団体と連携を取りながら生涯学習を推進します。 ◇ それぞれの活動目的にあった団体に参画してもらうことでボランティア意識の推進を図ります。	生涯学習推進体制の強化 事業の効果を検証し計画的・効果的な事業運営と生涯学習の推進に努め、新たな活動団体の設立や地域ボランティアの養成、情報発信等に積極的に取り組みます。	住民の役割 生涯学習活動に積極的に参加するとともに、活動を支える担い手同士の輪を広げます。 事業者の役割 地域ぐるみの生涯学習活動を支援します。	町民アンケート調査より、生涯学習などの施設や事業に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 20.8 30.0 社会教育団体登録数(団体) 現況値(H23) 目標値(H28) 92 100
2)学習施設の整備	◆ 公民館および文化センターのAV機器等の充実を図り貸出等を行っています。また、両図書室は、図書システムを導入し、蔵書を共有できるようになり、相互の貸し借りおよび返却が可能となりました。今後も、時代に沿った情報機器の整備が必要となっています。 ◆ みさと天文台は、情報機器を活用し天文に関する多様な学習会を開催しました。 ◆ 学校・中央公民館のブロードバンドを活かした事業の推進が求められています。	◇ 公民館等については、時代の変化とともにAV機器の充実を行い、利用者のニーズに沿った運営を行います。 ◇ みさと天文台については、専門性を活かした学習機会を提供します。 ◇ 施設予約システムについては、運用コストと利用頻度を検証しながら導入を検討します。	学習施設の機能充実 住民のニーズに対応できる機器の導入や運用コストと利用頻度を検討しながら施設の機能充実にめざします。 学習施設の有効利用 住民が利用しやすい環境づくりを推進します。	住民の役割 生涯学習活動に積極的に参加するとともに、活動を支える担い手同士の輪を広げます。 事業者の役割 地域ぐるみの生涯学習活動を支援します。	生涯学習施設（みさと天文台を除く）の利用者数(人) 実績値(H22) 目標値(H28) 5,684 8,000 図書室の利用登録者数(人) 現況値(H23) 目標値(H28) 691 1,000 図書室の貸出し冊数(冊) 実績値(H22) 目標値(H28) 15,872 17,000 みさと天文台来館者数(人) 実績値(H22) 目標値(H28) 13,406 18,000



第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

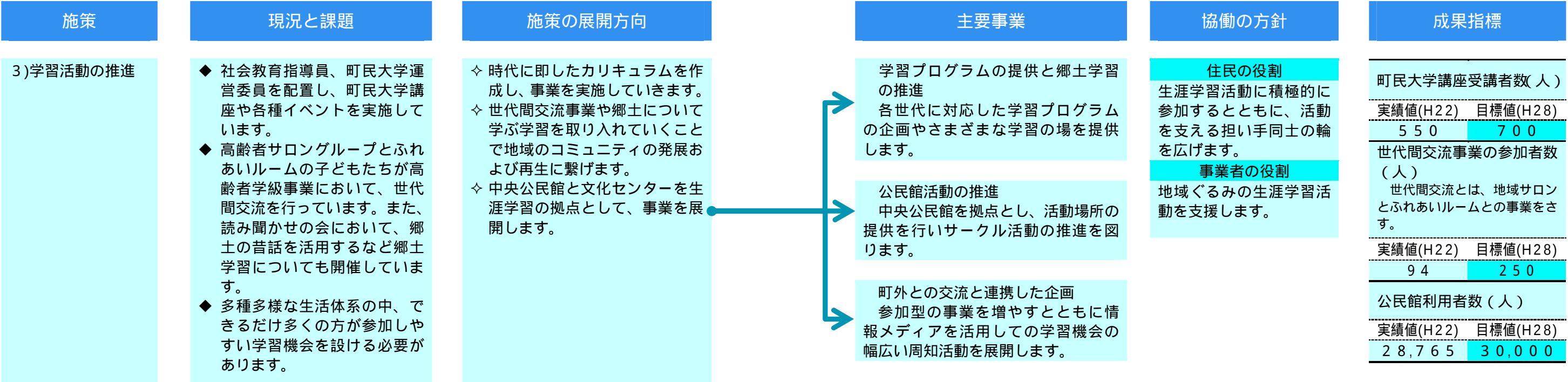
第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる

第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する



2 生涯にわたるスポーツ活動を推進する

すべての地域の人々が、生涯の各時期にいつでも、気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの推進を図るため、地域住民・各スポーツ団体と連携し、社会体育施設や学校体育施設を有効に利用しながら、地域のスポーツニーズに対応した支援活動や指導者の育成などを進めます。



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
 - 第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる
 - 第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標								
1) スポーツ施設の有効利用	◆ 総合運動施設として、運動広場・人工芝グラウンド・テニスコート・体育館を有する紀美野町スポーツ公園を開園しました。 ◆ 学校体育施設の地域開放を進めており、社会体育登録団体に所属している団体が、空いている時間を定期的に利用しています。	◇ 平成27年に開催される国体に向けて、スポーツ公園施設の整備を検討します。 ◇ 上神野運動広場と福井町民運動場については、今後のあり方を検討します。 ◇ 利用者の増加等により、予約システムの導入を検討します。	スポーツ施設の充実 地域住民やスポーツ団体と連携し、気軽にスポーツを楽しむことができるようスポーツ公園等の有効活用に取り組みます。 施設開放、利用の利便化 既存の社会体育施設や学校体育施設の開放を積極的に進め、地域に根ざした魅力あるスポーツ活動ができる環境整備に努めます。	住民の役割 施設の健全な維持管理に協力します。 事業者の役割 施設の健全な維持管理に協力します。	社会体育施設の利用者数(人) <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>49,584</td><td>60,000</td></tr></table> 学校施設開放利用件数(件) <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>1,152</td><td>1,200</td></tr></table>	実績値(H22)	目標値(H28)	49,584	60,000	実績値(H22)	目標値(H28)	1,152	1,200
実績値(H22)	目標値(H28)												
49,584	60,000												
実績値(H22)	目標値(H28)												
1,152	1,200												
2) 指導者、活動団体の育成	◆ スポーツ少年団やパークゴルフ協会、ゲートゴルフ協会の加入者に、指導者講習会や審判講習会への斡旋や開催を行っています。 ◆ 体育協会などの取り組みにより、人口減少にかかわらず体育団体は現状維持または増加傾向にありますが、今後、指導者の高齢化により、次世代の指導者育成が課題となります。	◇ 講習会への参加を呼びかけ、指導者の確保に努めます。 ◇ 人口の減少が予想されますが、団体や競技人口が維持できるようにスポーツ推進の周知や新しいスポーツの取り組み団体の支援に努めます。今後は、団体が独自に運営できるスポーツクラブの形を目標に、各団体へスポーツクラブの設立を呼びかけます。	指導者の育成と確保 各種スポーツ団体との連携により幅広く指導者を確保し、活動の活性化と組織強化・拡大に努めます。 活動団体の支援 体育協会をはじめ各種スポーツ団体の活動に対し補助金を交付します。	住民の役割 スポーツの経験と成果を指導に生かします。 事業者の役割 スポーツ指導者の活動に協力します。	社会体育登録団体数(団体) <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>41</td><td>50</td></tr></table> スポーツ少年団指導者数(人) <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>12</td><td>15</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	41	50	現況値(H23)	目標値(H28)	12	15
現況値(H23)	目標値(H28)												
41	50												
現況値(H23)	目標値(H28)												
12	15												



第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第1節	学校教育を充実し、次世代を育てる
第2節	文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
3)スポーツ活動の推進	◆ 社会体育登録団体により、各種イベントを開催するなど子どもから高齢者までが自発的に継続してスポーツ活動を行える環境を整えています。 ◆ スポーツ活動において顕著な成績を収めた人を選考し毎年表彰しています。また、町が定めたスポーツ大会へ参加する団体や個人に対して激励金を贈り、各種上位大会への出場を奨励することで、スポーツ活動を推進しています。	◇ 住民が自発的に継続してスポーツ活動を行える環境を作るため、社会体育登録団体を支援、育成します。 ◇ たくさんの住民が参加できるスポーツイベント等の開催を検討します。 ◇ ホームページ等によりスポーツ施設を紹介し、合宿地として町外からの利用を促進するなど、さらなるスポーツ振興対策に努めます。	生涯スポーツの普及 住民が気軽に継続してスポーツ活動を楽しむために環境整備や社会体育登録団体の普及や啓発に努めます。	住民の役割 生活の質を高めるため、日常的にスポーツ・レクリエーション活動に参加します。	町民アンケート調査より、スポーツ活動・施設の状況に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 30.3 40.0
			スポーツイベントの開催 国体開催に向け、ホームページ等を活用したスポーツ施設の紹介や多くの住民が参加できるイベント開催の検討に努めます。	事業者の役割 地域のスポーツイベントなどに積極的に参加します。	町民アンケート調査より、自分に適した運動をしていると答えた人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 43.9 60.0
			競技スポーツの振興 スポーツ活動参加者の意欲を高めるため表彰や激励金を贈ります。	スポーツ教室の参加者数（人） 実績値(H22) 目標値(H28) 103 250 スポーツイベント参加者数（人） 実績値(H22) 目標値(H28) 2,674 3,000	

3 地域文化活動を促進する

地域文化の振興体制を充実し、活動を活発化するとともに、本町固有の歴史文化遺産の保全・継承を進めます。また、文化活動を通じた幅広い交流活動を展開します。



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
 - 第1節 学校教育を充実し、次世代を育てる
 - 第2節 文化・スポーツ活動を通して社会教育を振興する
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
1)地域文化振興体制の充実	◆ 文化祭、文化協会展、文化センター自主事業を開催し、町民が文化性の高い芸術にふれ、交流できる機会を提供しています。 ◆ ふれあいネットにより、各種サークルの活動や作品を紹介し、また、各種イベントについて情報発信しています。 ◆ 各地域や各グループにおける指導者の育成が必要です。	◇ 各種グループの高齢化が進み活動を停止する団体もあることから、今後は指導者の育成に努めます。 ◇ 各学校と連携をとり、地域資源を活かした新しい企画を検討します。 ◇ 町ホームページ等に各種サークルの活動や紹介を掲載し幅広くアピールします。	活動団体の育成 展示会・芸能発表会や町外との交流会を実施します。 文化事業の推進 文化・芸術に触れ、体験できる場を提供します。 文化・芸術活動の充実 町民の積極的な参画による文化事業の運営をめざします。	住民の役割 文化・芸術に触れ合うとともに、自らも活動の担い手として、積極的に活動に参加します。 事業者の役割 町民の文化活動や学習活動を支援します。	文化協会に登録している団体の会員数（人） 現況値(H23) 目標値(H28) 309 400 町民アンケート調査より、文化・芸術・歴史などの施設や事業に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 19.5 30.0 郷土芸能公開回数（回） 現況値(H23) 目標値(H28) 2 3 文化センター利用者数(人） 実績値(H22) 目標値(H28) 23,857 30,000
2)歴史文化遺産の保全、継承	◆ 有形文化財や無形文化財の指定を通じて文化財の保護や伝統文化の継承を図っています。 ◆ 今後は、文化財等の資料整備と情報提供を図っていく必要があります。	◇ 地域文化の振興と継承を、地域住民と一緒に活発化するとともに、本町固有の歴史文化遺産の保全・継承を進めます。 ◇ 町内における歴史文化遺産の学習機会を創り出します。	文化財調査・保護活動の促進 新たな文化財の発掘と既存文化財を後世に継承するための啓発活動を積極的に推進します。 文化財等の資料整備と情報提供 文化財や学術推薦樹等の看板の設置をします。	住民の役割 町の歴史・文化に誇りを持ち、次世代に継承します。また、学習の機会には積極的に参加します。 事業者の役割 歴史・文化の継承を支援します。	町民アンケート調査より、紀美野町の歴史文化を身近に感じていると回答した人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 33.2 80.0 町内にある有形・無形文化財の指定件数（件） 現況値(H23) 目標値(H28) 3 5